

技能実習1号実施計画書モデル例

技能実習1号イ

技能実習1号ロ

2010年3月1日 作成

【技能実習1号
予定期間】 2010年7月1日～2011年7月1日

【監理団体】(技能実習1号ロの場合)

名 称: 国際研修協同組合
責任者: 国際 次郎
(役職): (事務局長)

【実習実施機関】

名 称: 株式会社宮崎水産
責任者: 技能 実夫
(役職): (総務部長)

【技能実習生人数】

春夏秋冬 他 1名

【到達目標】目標: 技能評価初級合格

時期: 技能実習1号の9月目 確認方法: 技能評価初級の受験

【実習実施場所】 名 称: 株式会社宮崎水産

所在地: 東京都新宿区西新宿○-○-○

技能実習科目(技能実習内容) 技能実習指導員の役職・氏名(経験年数)	総時間	技能実習月・時間数											
		1月目	2月目	3月目	4月目	5月目	6月目	7月目	8月目	9月目	10月目	11月目	12月目
講習	320	△	△										
1 必須作業(移行対象職種・作業で必ず行う作業)													
(1)延縄漁業													
①漁具の製作・補修作業													
1.まき結び作業													
2.もやい結び作業													
3.アイスプライス作業													
4.枝縄の作成作業													
②漁具・漁労機械の操作作業													
1.縄待ち時における延縄のワッチ作業	720	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
2.枝縄をコイルし、釣り針を枝縄に掛け、枝縄を一つに束ねる作業													
3.枝縄・浮縄を安全に船尾に送る作業													
4.ハンドプレッサーの操作作業													
③漁獲物の処理作業													
1.漁獲物の種類分け作業													
2.生きた漁獲物の即殺作業													
(2)安全衛生作業													
1.履い入れ時等の安全衛生教育													
2.乗船時の安全教育													
3.作業開始前の安全装置等の点検作業													
4.漁船漁業職種に必要な整理整頓作業													
5.漁船漁業職種の作業用機械及び周囲の安全確認作業													
6.保護具(作業用救命胴衣、安全帽、安全ベルト、命綱、安全靴等)の着用と服装の安全点検・収納作業	※ 80	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
7.保護具(作業用救命胴衣、安全帽、安全ベルト、命綱、安全靴等)の装着、収納の必要性についての説明作業													
8.安全装置の使用等による安全作業													
9.労働衛生上の有害性を防止するための作業													
10.異常時及び事故発生時の応急措置を習得する作業													
11.操業時の事故(転倒、海中転落、落下物、噛みつかれ等)防止作業													
12.消火器による初期消火作業													
		漁労長:国際太郎(25年)											
2 関連作業、周辺作業													
(1)関連作業													
1.水揚げ作業の準備													
2.水揚げ作業(陸上選別を含む。)													
3.陸上での漁具製作・補修作業													
4.陸上での漁労機器点検作業													
(2)周辺作業													
1.出港時の漁具積み込み作業													
2.帰港時の漁具積み下ろし作業													
3.船体補修作業													
(3)安全衛生作業(関連作業、周辺作業を行う場合は必ず実施する作業)													
上記※に同じ													
		漁労長:国際太郎(25年)											
合 計 時 間	1600	160	160	160	160	160	160	160	160	160	160	160	160
総 技 能 実 習 時 間 (講 習 + 技 能 実 習)	1920	160	160	160	160	160	160	160	160	160	160	160	160

(注)予定表には、当該科目の開始月より修了月までの間を矢印(←→)で結び、矢印の上に各月に行う時間数を記載してください。

使用する素材(材料)	1.延縄漁業用餌		
使用する機械、設備、器具等 (該当するものを選択すること。)	①漁労機械類(1.は必ず使用し、他は必要に応じて使用すること) 1.延縄漁船 6.ラインホーラー 11.冷凍機 16.延縄置場 2.魚群探知機 7.ラインワインダー 12.デリック(クレーン) 3.ソナー 8.自動投縄機 13.枝縄巻き機(ブランリール) 4.GPS 9.サイドローラー 14.縄巻きドラム 5.自記水温計 10.魚艙 15.ベルトコンベアー		
	②漁具類(1.は必ず使用し、他は必要に応じて使用すること) 1.延縄 6.ぼんでん竿 11.釣針 2.幹縄 7.ランプ(だるま灯) 12.クリップ 3.枝縄(ブラン) 8.ラジオブイ 13.ハンドプレッサー 4.浮縄 9.魚鈎(フック) 14.錨(土俵) 5.浮子(あば) 10.鉛 15.漁具等仕様書		
製品の例	1.キハダ 7.メカジキ 13.キンメダイ 2.クロマグロ(ホンマグロ) 8.クロカジキ 14.マハタ 3.ビンナガ(ビンチョウ、トンボ) 9.シロカジキ 15.クエ 4.スバチ 5.カツオ 6.マカジキ	10.ベショウカジキ 11.ネズミザメ(モウカザメ) 12.ヨシキリザメ	
指導体制	指導員名 免許・資格等	国際 太郎 1.○級海技士(航海)免許 2.○級海技士(機関)免許 3.揚貨装置運転士免許 4.フォークリフト運転技能講習修了 5.漁船漁業技能評価試験(延縄:日本人級)合格	

技能実習2号(1年目)実施計画書モデル例

技能実習2号イ
 技能実習2号ロ

【技能実習2号】 予定期間】	2011年 7月 1日 ~ 2012年 7月 1日	【監理団体】(技能実習2号ロの場合) 名 称: 国際研修協同組合 責任者: 国際 次郎 ㊞ (役職): (事務局長)	【実習実施機関】 名 称: 株式会社宮崎水産 責任者: 技能 実夫 ㊞ (役職): (総務部長)	2011 年 3月 1日 作成	
				春 夏 秋 冬	他 1名 (役職): 【実習実施場所】 名 称: 株式会社宮崎水産 所在地: 東京都新宿区西新宿〇-〇-〇
【技能実習生人数】		確認方法: 技能評価中級の受験			
【到達目標】目標:	技能評価中級合格				
時期:	技能実習2号1年目の9月目				

技 能 実 習 科 目 (技能実習内容) 技能実習指導員の役職・氏名(経験年数)	総時間	技 能 実 習 月 ・ 時 間 数											
		1月目	2月目	3月目	4月目	5月目	6月目	7月目	8月目	9月目	10月目	11月目	12月目
1 必須作業(移行対象職種・作業で必ず行う作業)													
(1)延縄漁業													
①漁具の製作・補修作業													
1.まき結び作業													
2.もやい結び作業													
3.本目結び作業													
4.アイスプライス作業													
5.ショートスプライス作業													
6.枝縄の作成作業													
7.浮縄の作成作業													
②漁具・漁労機械の操作作業													
1.魚群探知機による魚群探索作業													
2.魚群探知機による測深(海底の深さ測定)作業													
3.釣り針に餌を付け、枝縄を幹縄に結び、海に投入する作業の一部作業													
4.浮縄を枝縄に結び、海に投入する作業の一部作業													
5.繩待ち時における延縄のワッち作業													
6.枝縄をコイルし、釣り針を枝縄に掛け、枝縄を一つに束ねる作業													
7.枝縄、浮縄を安全に船尾に送る作業													
8.漁獲魚の取り込み作業													
9.ラジオブイの保守・管理作業													
10.だるま灯の保守・管理作業													
11.ハンドプレッサーの操作作業													
③漁獲物の処理作業													
1.漁獲物の種類分け作業													
2.生きた漁獲物の即殺作業													
3.漁獲物の血抜き作業													
4.魚艙の温度管理作業													
(2)安全衛生作業													
1.雇い入れ時等の安全衛生教育													
2.乗船時の安全教育													
3.作業開始前の安全装置等の点検作業													
4.漁船漁業職種に必要な整理整頓作業													
5.漁船漁業職種の作業用機械及び周囲の安全確認作業													
6.保護具(作業用救命胴衣、安全帽、安全ベルト、命綱、安全靴等)の着用と服装の安全点検・収納作業													
7.保護具(作業用救命胴衣、安全帽、安全ベルト、命綱、安全靴等)の装着、収納の必要性についての説明作業													
8.安全装置の使用等による安全作業													
9.労働衛生上の有害性を防止するための作業													
10.異常時及び事故発生時の応急措置を習得する作業													
11.操業時の事故(転倒、海中転落、落下物、噛みつかれ等)防止作業													
12.消火器による初期消火作業													
漁労長:国際太郎(25年)													
2 関連作業、周辺作業													
(1)関連作業													
1.水揚げ作業の準備													
2.水揚げ作業(陸上選別を含む。)													
3.陸上での漁具製作・補修作業													
4.陸上での漁労機器点検作業													
(2)周辺作業													
1.出港時の漁具積み込み作業													
2.帰港時の漁具積み下ろし作業													
3.船体補修作業													
(3)安全衛生作業(関連作業、周辺作業を行う場合は必ず実施する作業) 上記※に同じ													
漁労長:国際太郎(25年)													
合 計 時 間	1920	160	160	160	160	160	160	160	160	160	160	160	160

(注) 予定表には、当該科目の開始月より修了月までの間を矢印(←→)で結び、矢印の上に各月に行う時間数を記載してください。

使用する素材(材料)	1.延縄漁業用餌		
使用する機械、設備、器具等 (該当するものを選択すること。)	①漁労機械類(1.は必ず使用し、他は必要に応じて使用すること) 1.延縄漁船 6.ラインホーラー 11.冷凍機 16.延縄置場 2.魚群探知機 7.ラインワインダー 12.デリック(クレーン) 3.ソナー 8.自動投縄機 13.枝縄巻き機(ブランリール) 4.GPS 9.サイドローラー 14.縄巻きドラム 5.自記水温計 10.魚艙 15.ベルトコンベアー		
	②漁具類(1.は必ず使用し、他は必要に応じて使用すること) 1.延縄 6.ぼんでん竿 11.釣針 2.幹縄 7.ランプ(だるま灯) 12.クリップ 3.枝縄(ブラン) 8.ラジオブイ 13.ハンドプレッサー 4.浮縄 9.魚鈎(フック) 14.錨(土俵) 5.浮子(あば) 10.鉛 15.漁具等仕様書		
製品の例	1.キハダ 7.メカジキ 13.キンメダイ 2.クロマグロ(ホンマグロ) 8.クロカジキ 14.マハタ 3.ビンナガ(ビンチョウ、トンボ) 9.シロカジキ 15.クエ 4.スバチ 5.カツオ 6.マカジキ	10.ベショウカジキ 11.ネズミザメ(モウカザメ) 12.ヨシキリザメ	
指導体制	指導員名 免許・資格等	国際 太郎 1.○級海技士(航海)免許 2.○級海技士(機関)免許 3.揚貨装置運転士免許 4.フォークリフト運転技能講習修了 5.漁船漁業技能評価試験(延縄:日本人級)合格	

技能実習2号(2年目)実施計画書モデル例

技能実習2号イ
 技能実習2号ロ

【技能実習2号】		□ 技能実習2号1年コース <input checked="" type="checkbox"/> 技能実習2号2年コース (□ 1年目 <input checked="" type="checkbox"/> 2年目)	2011年3月1日 作成										
【予定期間】		2012年7月1日 ~ 2013年7月1日	【監理団体】(技能実習2号ロの場合)										
【技能実習 対象職種】		職種名: 渔船漁業 作業名: 延縄漁業	名 称: 国際研修協同組合 責任者: 国際 次郎										
【技能実習生人数】		春夏秋冬 他 1名	(役職): (事務局長)										
【到達目標】目標:		技能評価専門級合格	【実習実施場所】										
時期: 技能実習2号2年目の9月目		確認方法: 技能評価専門級の受験	名 称: 株式会社宮崎水産 所在地: 東京都新宿区西新宿〇-〇-〇										

技能実習科目(技能実習内容) 技能実習指導員の役職・氏名(経験年数)	総時間	技能実習月・時間数											
		1月目	2月目	3月目	4月目	5月目	6月目	7月目	8月目	9月目	10月目	11月目	12月目
1 必須作業(移行対象職種・作業で必ず行う作業)													
(1) 延縄漁業													
①漁具の製作・補修作業													
1.まき結び作業													
2.もやい結び作業													
3.いかぬ結び作業													
4.ロープの端留作業													
5.本目結び作業													
6.かえる又結び作業													
7.アイスプライス作業													
8.ショートスプライス作業													
9.ロングスプライス作業													
10.枝縄の作成作業													
11.浮縄の作成作業													
12.延縄の保守・管理作業													
13.浮子に掛ける網の製作作業													
②漁具・漁労機械の操作作業													
1.GPSを使用して最適な漁具の配置と展開方法を勘案する作業													
2.魚群探知機による魚群探索作業													
3.魚群探知機による測深(海底の深さ測定)作業													
4.釣り針に餌を付け、枝縄を幹縄に結び、海に投入する作業の一部作業													
5.浮縄を枝縄に結び、海に投入する作業の一部作業													
6.繩待ち時における延縄のワッヂ作業													
7.揚縄時、幹縄から枝縄と浮縄を外す作業													
8.枝縄をコイルし、釣り針を枝縄に掛け、枝縄を一つに束ねる作業													
9.枝縄、浮縄を安全に船尾に送る作業													
10.漁獲魚の取り込み作業													
11.魚鉤(フック)を使用して生きた大型魚を海中から引き揚げる作業													
12.ラジオブイの保守・管理作業													
13.だるま灯の保守・管理作業													
14.ハンドプレッサーの操作作業													
15.枝縄巻き機の操作作業													
16.ラインワinderの操作作業													
17.デリック操作作業													
18.投縄機の操作作業													
19.ラインホーラーの操作作業													
③漁獲物の処理作業													
1.漁獲物の種類分け作業													
2.生きた漁獲物の即殺作業													
3.漁獲物の血抜き作業													
4.漁獲物の鮮度保持(鰓、内臓等の除去)作業													
5.鮫を即殺してドレスにする作業													
6.魚艤内におけるまぐろの効率的な積み方の補助作業													
7.魚艤の温度管理作業													
(2) 安全衛生作業													
1.雇い入れ時等の安全衛生教育													
2.乗船時の安全教育													
3.作業開始前の安全装置等の点検作業													
4.漁船漁業職種に必要な整理整頓作業													
5.漁船漁業職種の作業用機械及び周囲の安全確認作業													
6.保護具(作業用救命胴衣、安全帽、安全ベルト、命綱、安全靴等)の着用と服装の安全点検・収納作業													
7.保護具(作業用救命胴衣、安全帽、安全ベルト、命綱、安全靴等)の装着、収納の必要性についての説明作業													
8.安全装置の使用等による安全作業													
9.労働衛生上の有害性を防止するための作業													
10.異常時及び事故発生時の応急措置を習得する作業													
11.換業時の事故(転倒、海中転落、落下物、噛みつかれ等)防止作業													
12.消火器による初期消火作業													
漁労長:国際太郎(25年)													
2 関連作業、周辺作業													
(1) 関連作業													
1.水揚げ作業の準備													
2.水揚げ作業(陸上選別を含む。)													
3.陸上での漁具製作・補修作業													
4.陸上での漁労機器点検作業													
(2) 周辺作業													
1.出港時の漁具積み込み作業													
2.帰港時の漁具積み下ろし作業													
3.船体補修作業													
(3) 安全衛生作業(関連作業、周辺作業を行う場合は必ず実施する作業)													
上記※に同じ													
漁労長:国際太郎(25年)													
合 計 時 間	1920	160	160	160	160	160	160	160	160	160	160	160	160

(注) 予定表には、当該科目の開始月より修了月までの間を矢印(↔)で結び、矢印の上に各月に行う時間数を記載してください。

使用する素材(材料)	1.延縄漁業用餌		
使用する機械、設備、器具等 (該当するものを選択すること。)	①漁労機械類(1.は必ず使用し、他は必要に応じて使用すること) 1.延縄漁船 6.ラインホーラー 11.冷凍機 16.延縄置場 2.魚群探知機 7.ラインワインダー 12.デリック(クレーン) 3.ソナー 8.自動投縄機 13.枝縄巻き機(ブランリール) 4.GPS 9.サイドローラー 14.縄巻きドラム 5.自記水温計 10.魚艤 15.ベルトコンベアー		
製品の例	②漁具類(1.は必ず使用し、他は必要に応じて使用すること) 1.延縄 6.ぼんでん竿 11.釣針 2.幹縄 7.ランプ(だるま灯) 12.クリップ 3.枝縄(ブラン) 8.ラジオブイ 13.ハンドプレッサー 4.浮縄 9.魚鈎(フック) 14.錨(土俵) 5.浮子(あば) 10.鉛 15.漁具等仕様書		
指導体制	指導員名 国際 太郎 免許・資格等 1.○級海技士(航海)免許 2.○級海技士(機関)免許 3.揚貨装置運転士免許 4.フォークリフト運転技能講習修了 5.漁船漁業技能評価試験(延縄:日本人級)合格		